NAIS

IHクッキングヒーター(200V)

施工説明書

SUE26EB1・SUE27EB1・SUS27EB1

QG26EB1・QG27EB1・QM26EB1

工事される方へのお願い

- 施工前にこの施工説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。
- 施工完了後のチェックリストに基づいて再確認してください。
- 電気工事は電気工事士の資格取得者が行ってください。

1 安全上のご注意 必ずお守りください (施工上のご注意)

施工の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ工事してください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

施工は、この「施工説明書」に従って確実に行う

必ず守る

設置に不備があると、漏電・火災の原因になります。

200V・30A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する

必ず守る

この工事をしないと、配線部が異常発熱する恐れがあります。

絶対に分解・修理・改造は行わない

分解禁止

発火・異常動作してけがをすることがあります。

電気配線工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って必ず「電気工事士」が行う

必ず守る

接続・固定が不完全な場合は、漏電・火災の原因になります。

アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って必ず「電気工事士」によるD種接地工事を行う

アース線接続

漏電時に感電のおそれがあります。

⚠ 注意

トッププレートに衝撃を加えない

禁止

万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因になります。
※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたりしないでください。

試運転中は、トッププレートやロースター扉など高温部に触れない

接触禁止

やけどの恐れがあります。

カウンターの材料は、耐熱材料の物を使う

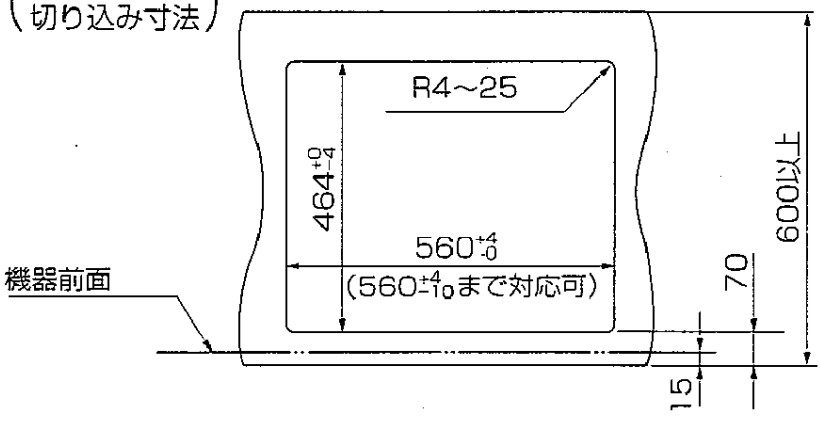
必ず守る

- 熱硬化樹脂高圧化粧板（JIS K 6903）またはこれと同等以上の物。
  耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。

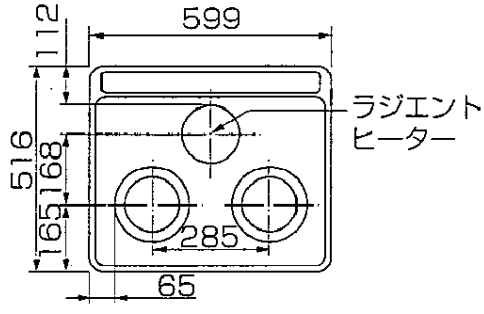
※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

2 外形寸法図 (単位：mm)

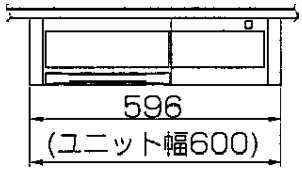
〈取り付け穴〉
（カウンター切り込み寸法）



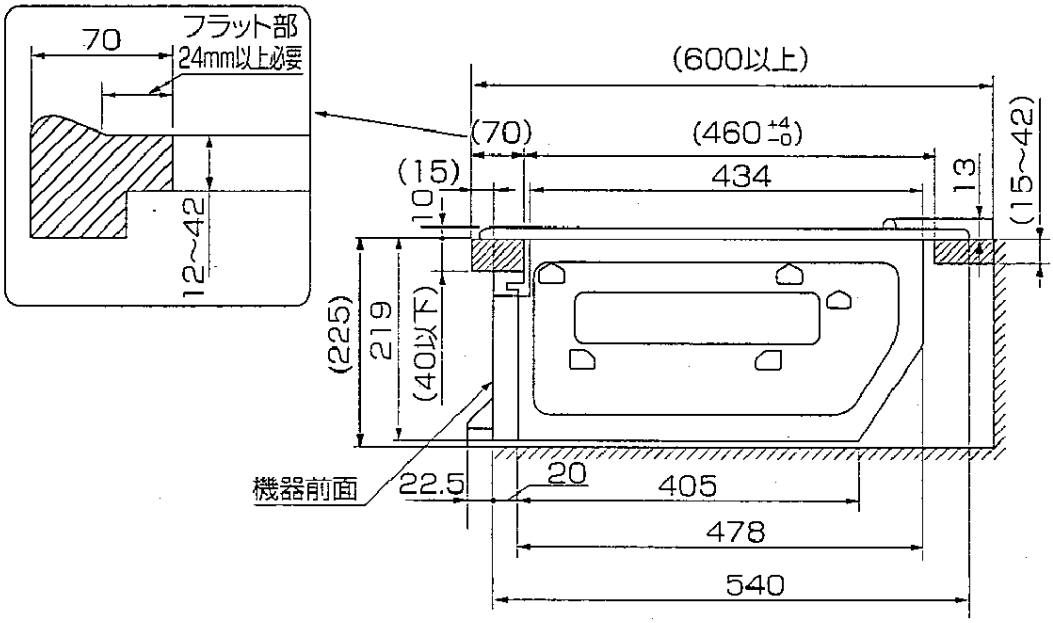
〈平面図〉



〈正面図〉



〈側面図〉

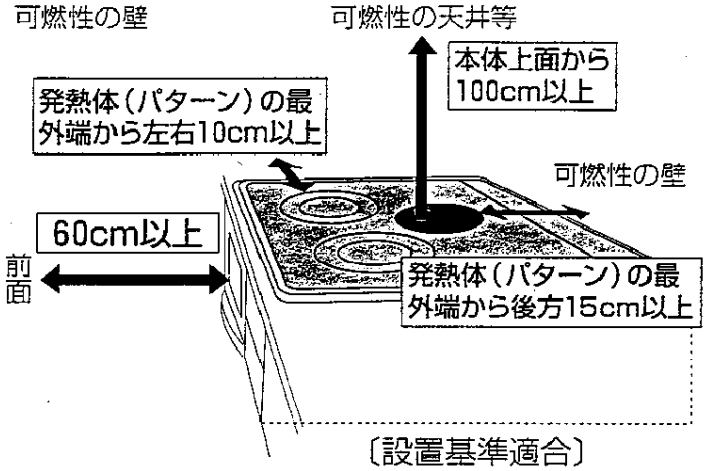


3 設置場所の確認

火災予防条例、電気設備技術基準第59条に従って設置してください。

壁からの距離

■周囲が可燃性の壁の場合（防火構造壁以外）

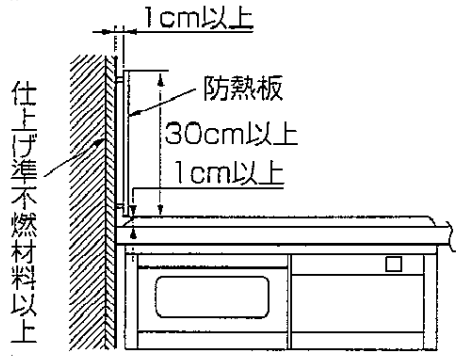


不燃性の壁もしくは、防熱板を取り付けた場合
- 側面、後方は本体から0cm以上
- 上方は、本体上面から80cm以上

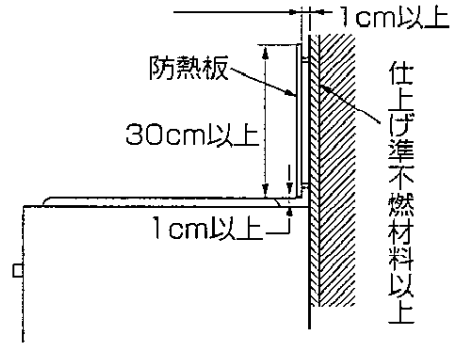
※設置するときは、所轄の消防署に確認してください。

■可燃性の壁から左記の距離を離せない場合は防熱板を取り付ける

〈正面図〉



〈側面図〉



お願い

- 製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。（電気設備技術基準第59条で危害なきよう設置することが定められています。）

4 電気工事

必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

専用回路の設置

■電源にブレーカー付き200V・30Aの専用回路を設置する

■屋内配線用電線は、線径φ2.6mmのものを使う

漏電しゃ断器の設置

■漏電しゃ断器を必ず設置する

- 推奨漏電しゃ断器（松下電工製）

品　番	BJS303(HBモジュール)
定格電流	30A
感度電流	30mA

コンセントの設置

■コンセントの種類

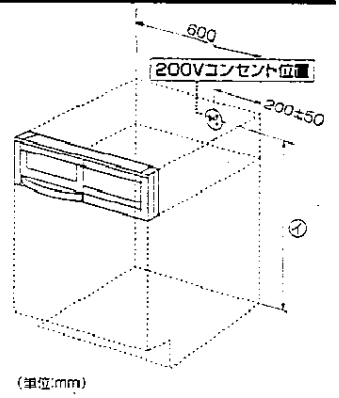
●推奨コンセント（松下電工製）

	200Vコンセント
定　格	埋込コンセント 単相250V・30A(接地2P)
品　番	埋込コンセント WF3630Bに相当するもの

■コンセントの位置

●コンセントの取り付け位置

キッチン高さ	200Vコンセント ㋑寸法
850mmの場合	690±15mm
800mmの場合	640±15mm



（単位:mm）

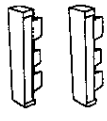
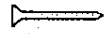
※200Vコンセントの向きに注意してください。（右図参照）

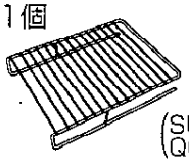
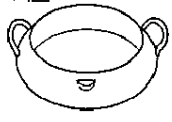
D種接地工事を必ず行ってください。（コンセントの接地端子に配線してください。）

5 設置する

設置前の準備

■包装材料を取り外し、付属品を確認する

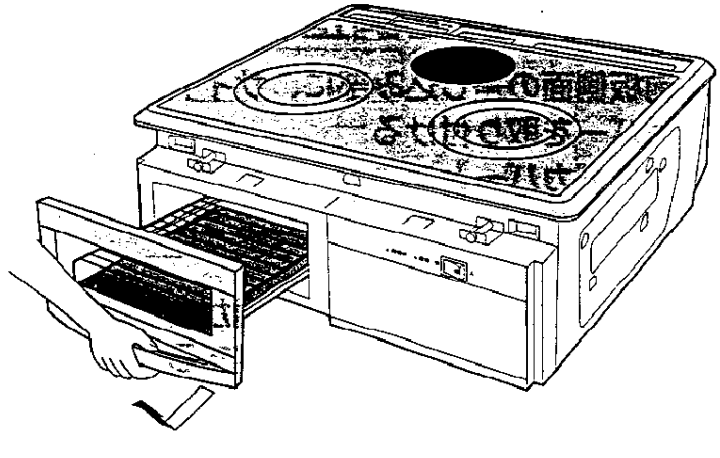
サイドカバー	リモコンホルダー	ホルダー取り付け金具	ホルダー取り付けねじ	吸・排気パネル	飾り枠
2個 	1個	1個	2個 なべSタイトねじ (4×8) 2個 皿Sタイトねじ (4×12) 2個 皿タッピングねじ (3×20) 	1個	1個

ロースター焼き網	天ぷらなべ
1個  (SUE27EB1用 QG27EB1用) (SUE26EB1 QG26EB1用 QM26EB1)	1個 

- 取扱説明書、保証書があることを確認してください。
- 操作部止めテープ（SUE26EB1・QG26EB1・QM26EB1は無し）およびロースター扉止めテープをはがし、ロースター焼き網の包装材を取り除いてください。

■ロースター扉・受け皿を取り外す

ロースター扉の取っ手を持って引き出し、そのまま斜め上に引き上げる。

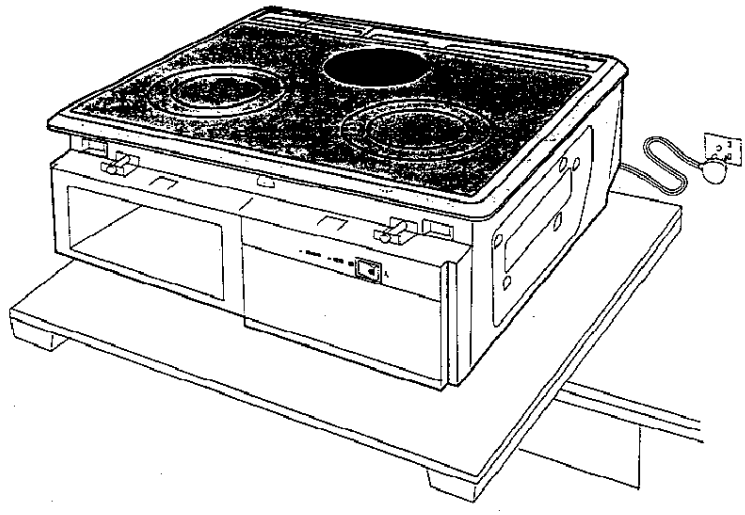


5 設置する

本体の設置

1 電源プラグを差し込む

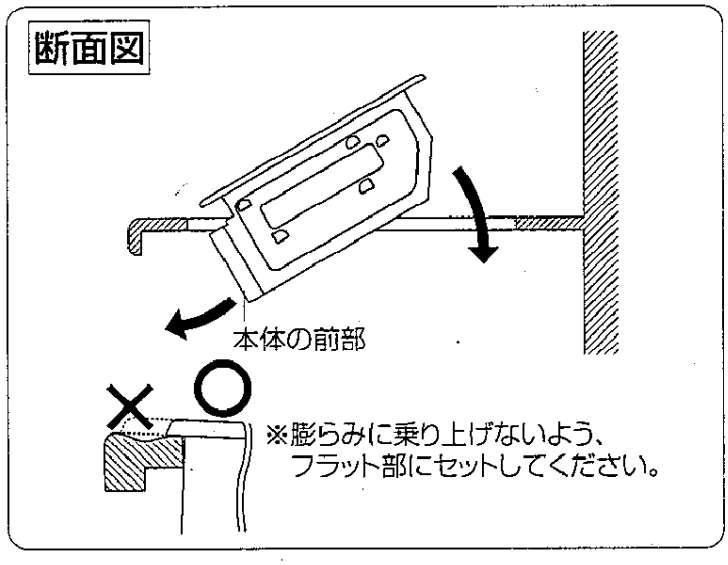
●カウンターに傷を付けないように包装用のダンボール板を敷いてください。



2 カウンターに本体の前面を挿入してから全体をはめ込む

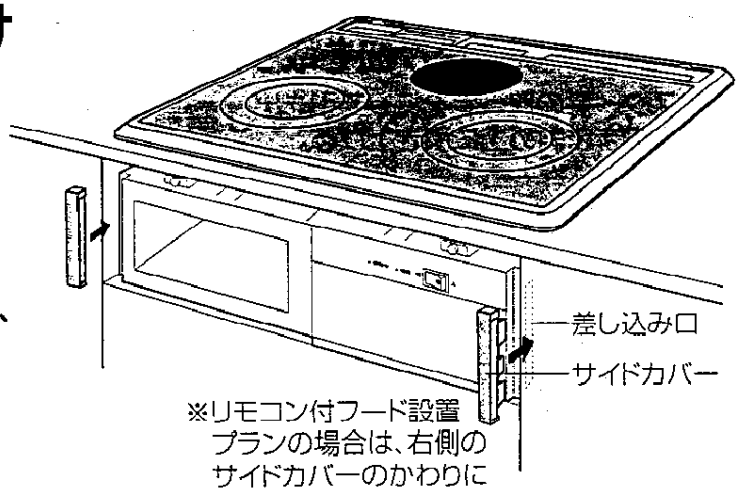
●はめ込み時は、前面のスイッチや前板をカウンターに当てないでください。
(スイッチの破損や前板に傷が付く原因になります。)

●フレーム下面とカウンターのすき間が、前後左右で均一であることを確認してください。
(本体挿入時に、電源コードが本体底面とユニットの間に挟まると、本体が浮いてすき間がバラつきます。)



3 サイドカバーを取り付け本体の位置を調整する

①前板側面の差し込み部に、サイドカバーを取り付ける
②サイドカバーとユニットの左右側面とのすき間が均一になるように、本体の位置を調整する
③ユニットの扉面に本体の前面が合うように、本体の位置を調整する



※リモコン付フード設置プランの場合は、右側のサイドカバーのかわりにリモコンホルダーを取り付けます。

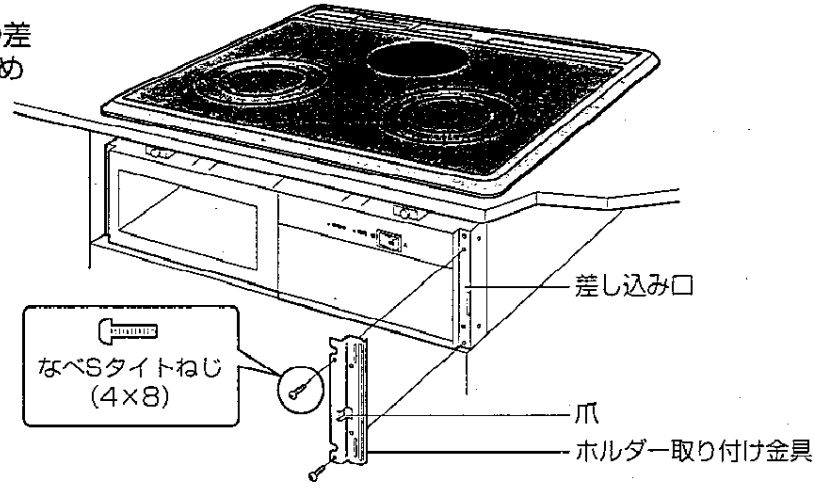
4 リモコン付フード設置プランの場合

お願い

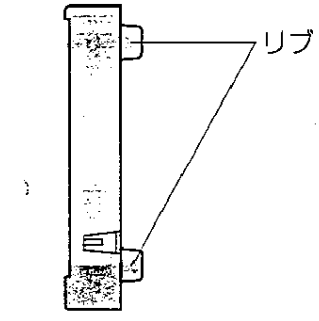
●取り付けねじを間違わないようにしてください。
●取り付けねじは、プラスドライバーにて手締めしてください。(推奨トルク100～130N・cm)
インパクトドライバーなど高トルクでの締め付けは、リモコンホルダーを破損する恐れがあります。

■調理器下ユニットの側板がIH本体の右横にない場合
■IH下に電気オーブンレンジを設置する場合

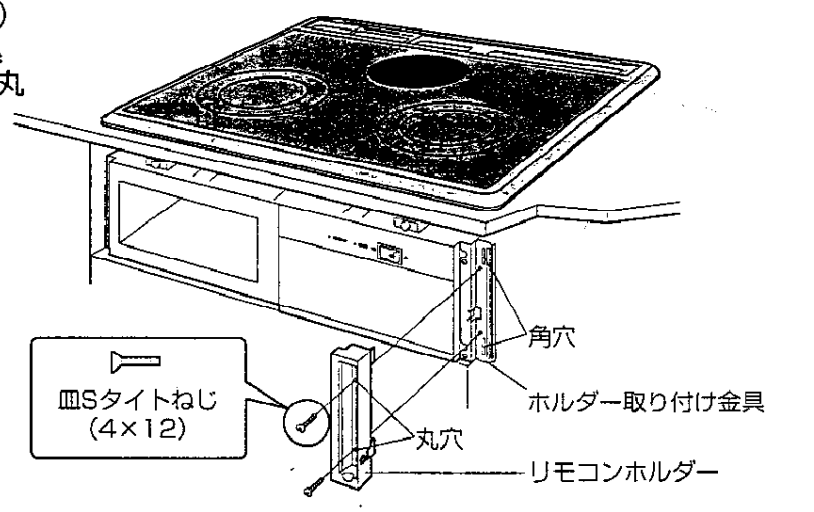
①ホルダー取り付け金具の爪を本体右横の差し込み口に仮固定し、ねじ（2本）を締め付けて固定する。



②リモコンホルダーの裏面のリブ（2ヶ所）をホルダー取り付け金具の角穴に差し込み、ねじ（2本）をリモコンホルダーの丸穴に締め付けて固定する。

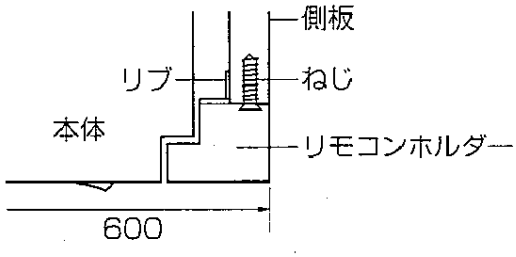


リモコンホルダー

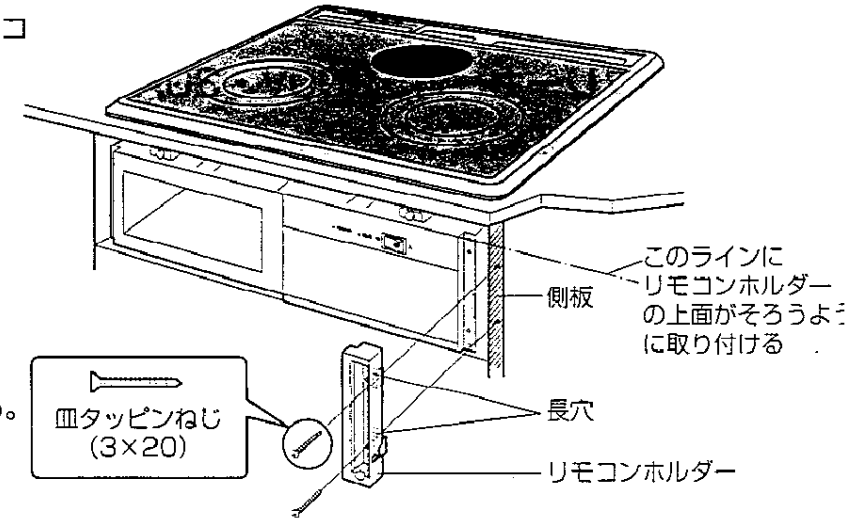


■調理器下ユニットの側板が右横にある場合（ホルダー取り付け金具は使用しません。）

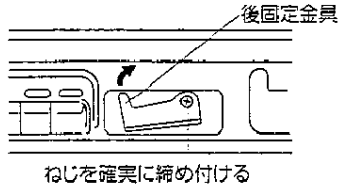
リモコンホルダーの裏面のリブをユニットの側板にそわしながらねじ（2本）をリモコンホルダーの長穴に締め付けて固定する。



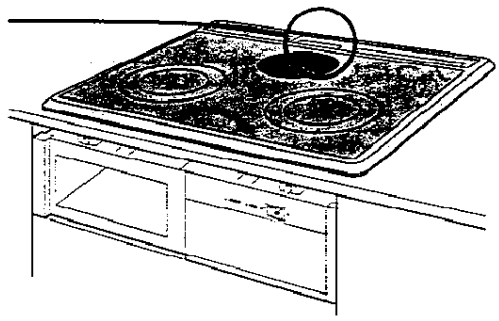
〈上から見た断面図〉
※傾かないように必ず水平、垂直に取り付ける。
※本体とのラインがそろうように取り付ける。



5 後固定金具を固定する



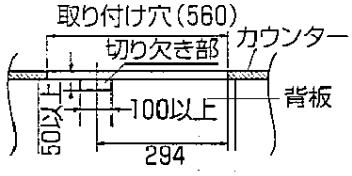
（後固定金具が回り、カウンターに固定され、シール性が確保されます。）

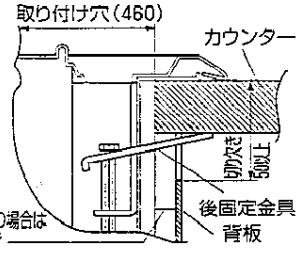


ユニットの後方に背板がある場合

●背板位置がユニットの取り付け穴から40mm以下の場合は、後固定金具が通るよう背板に切り欠きを設けてください。

＜正面（断面）図＞

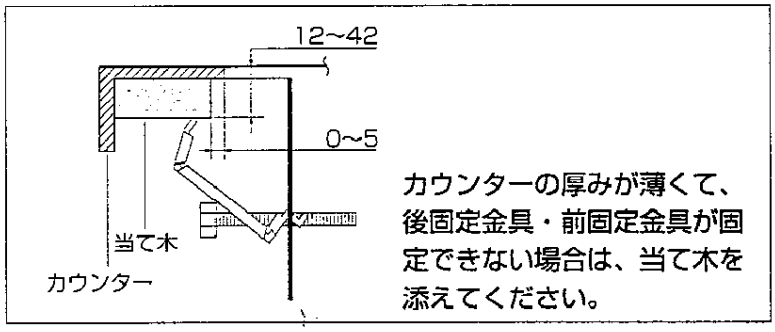




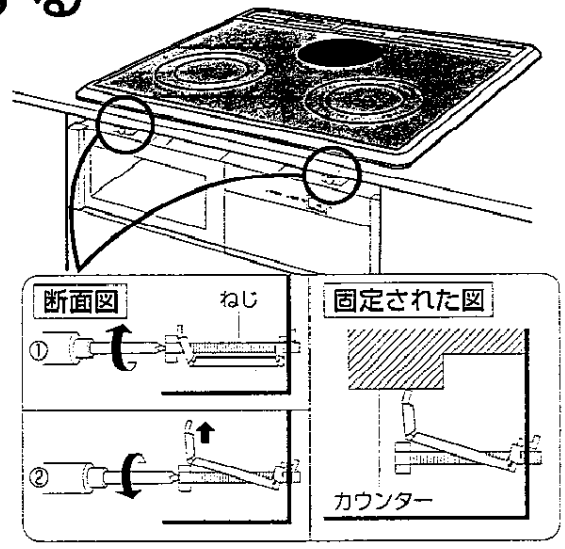
6 前固定金具（2か所）を固定する

①ねじをゆるめて、前固定金具をゆるめる
②前固定金具をねじの上に載せるようにセットし、ねじを締め付けてカウンターの裏面に固定する

●固定後、フレームを押して動かないことを確認してください。



カウンターの厚みが薄くて、後固定金具・前固定金具が固定できない場合は、当て木を添えてください。

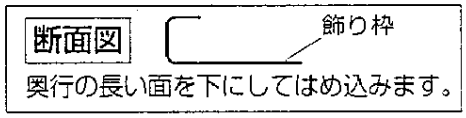


※カウンターの裏材に前固定金具が接していることを必ず確認する。

6 設置完了後

付属品およびロースター扉・受け皿、ロースター焼き網の取り付け

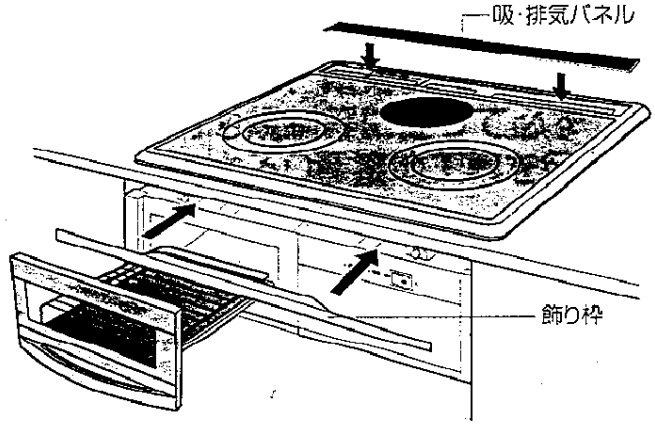
①吸・排気パネルを取り付ける。
②飾り枠を取り付ける。



③ロースター扉・受け皿、ロースター焼き網を取り付ける。

●受け皿の左右を庫内の底部に添わせ、斜め上からはめ込んでください。

※天ぷらなべ、取扱説明書、施工説明書、保証書は必ずお客様にお渡しください。



施工完了後の確認

■施工完了後、次の手順で確認をし、チェック欄に✓印をしてください。

確認項目		チェック
包装材料の取り外し	操作部止めテープ（SUE26EB1・QG26EB1・QM26EB1は無し）・ロースター扉の内側の紙	
付属品などの取り付け	吸・排気パネル・飾り枠・サイドカバー・ロースター扉・受け皿・ロースター焼き網	
外　観	フレームが浮いていないことを確認する	
	トッププレートが汚れていないことを確認する	
電気試験	**1** 電源電圧が単相200Vであることを確認する ※単相100Vでは、左右IHヒーターを作動させたときに[H14][H15]を表示します。 → 単相200Vに接続しても表示が消えない場合は故障です。	
	2 電源スイッチを入れる → 電源ランプが点灯する	
	3 左右IHヒーターは [切/入] キーと [切/入] キーで、ラジエントヒーターは [切/入] キーで、作動を確認する ●水を入れたなべを置いて、お湯を沸かす。 ※なべを置かないで左右IHヒーターのキーを操作すると、「なべなし自動OFF」が働いて、約1分後に自動的に通電を停止します。 ※ [揚げ物 切/入] キーで操作した場合、次のようになることがありますが、異常ではありません。 ●なべが熱くなるまで時間がかかる ●[U15]を表示し通電を停止する → しばらくすると お湯が沸く [U15]表示は再度 [揚げ物 切/入] キーを押すと消えます。	
	4 ロースターは [切/入] キーで、作動を確認する ●ロースター受け皿に水（約200ml）を入れて通電する。 ※水を入れないでキーを操作すると、「ロースター受け皿高温検知」が働いて、[U11]を表示し通電を停止します。 ※ラジエントヒーターと同時に使用できません。 → しばらくすると 庫内が熱くなる [U11]表示は再度 [切/入] キーを押すと消えます。	

■電気試験後は、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

■施工完了後、包装用のダンボール箱を、機器の上にかぶせ、機器の保護に使用してください。

松下電工株式会社　システムキッチン事業部
〒571-8686　大阪府門真市門真1048　☎06-6908-1131(大代表)

ZY16-2412
S0800Y0